



学校だより

## われら松濤中生

発行年月日  
平成21年2月18日  
(NO. 10)

2月号

渋谷区立松濤中学校

SHOTO Junior High School

TEL(3469)2451・2452

<http://academic1.plala.or.jp/shoto/>

【教育目標】○みんなを愛する生徒 ○自ら学び考える生徒 ○生き生きと活動する生徒

「生き方」についてじっくりと語り合う良い時期です!

校長  
鈴木富樹

## 2年生 職場体験学習終了

## 「進路」を考える

2年生は、1月26日(月)から30日(金)にかけて、区内を中心に物品販売、保育園、病院、ホテル等の38事業所で職場体験学習を行いました。

この体験は、渋谷区を始め全都で「将来の社会人である中学生に望ましい社会性、勤労観・職業観を身に付けさせる」ため、地域で子どもたちを育てるという理念を生かし、多くの方々の理解と協力の下、行われています。

生徒からは、「慣れてくると楽しくなった」「頑張るって大切なんだ」「店員さんの動きの速さや目の配り方、挨拶の大切さがわかった」「保育園では、



子どもの目線で話すことや先生方の愛情がわかった」「働く人、一人一人の存在の大切さを知った」「商品管理の大切さがわかった」「床やトイレ掃除をして、使い方などのマナーがわかった」などの感想が出ています。



保護者の皆さんからは、「働ける場所と元気な身体があることのありがたさを感じられたと思う」「視野も広がり、働くことへの関心や大変さを身を持って感じるいい機会だった」「仕事をする上での責任や命の尊さを肌で感じたと思う」などの声もいただきました。

事業所の皆さんは、「社会や事業所には、子どもたちを育てる責任があると自覚している」「将来の客や店員でもあり、受け入れは私たちの大きな役割である」などと、この体験の意義をよく理解し、積極的に受け入れていただいています。

この体験は、まちがいなく生徒たちの夢や希望に火をつけ、進路という新たな視点から、自分の生活態度を変えていこうとする前向きな姿につながっています。

人生には節目や岐路というものがあり、それを乗り越えたり、経験することは、その人の次の生き方に多くの影響を与えてくれます。3年生は、今その真只中にいます。

学校で行う進路指導は、「生徒自身が自分の生き方を考え、自分の目指す進路を選択することができるように、3年間の学校の教育活動全体を通じて、計画的に行っていく」ことです。中学生年代は、心身が大きく発達し、生き方や社会についても高い関心を持つ時期です。将来の進路選択や生き方に、大きな可能性があり、夢が広がる時期でもあります。

保護者の皆さんにお願いしたいことは、ご家庭でも、そのような可能性のある子どもたちに、自分自身で生き方や進路を決められるように、適切な指導と援助をしてほしいということです。その基本は、保護者が子どもに夢や希望を語り、そのことの大切さを語ることです。そして、子どもの夢や希望を聞いてあげることです。

## 道徳授業地区公開講座を終えて

2月7日(土)には、たくさんの方々にお出でいただきありがとうございました。協議会では、本校の英語教育重点校コーディネーター、今井愛華さんから、「最後の授業」で世界的に有名になった故ランディ・パウシュさんの話を例にして、保護者が「夢や希望を語ることの大切さ」について講演していただきました。大変考えさせられる内容でした。

## 玄関の桜が満開です

ご覧になった方も多いと思います。山形から送れた桜が満開になり、一足早く春を告げています。



啓翁桜

# 平成20年度教育活動に関するアンケート集計結果 回収率52%

【A:十分達成されている B:ほぼ達成されている C:あまり達成されていない D:達成されていない E:分からない】  
上段右上 A,Bの合計

